

【注記】
 *この参考図は、設計図を基に作成しているため、変更が生じる場合があります。
 *実測寸法ではないため、現地確認を要します。
 *与条件及び求積面積は、別途条件図及び設計指針説明書によります。
 *設備等の絡みで、天井高さ、照明器具配置等の納まりに関して、協議をお願いすることがあります。

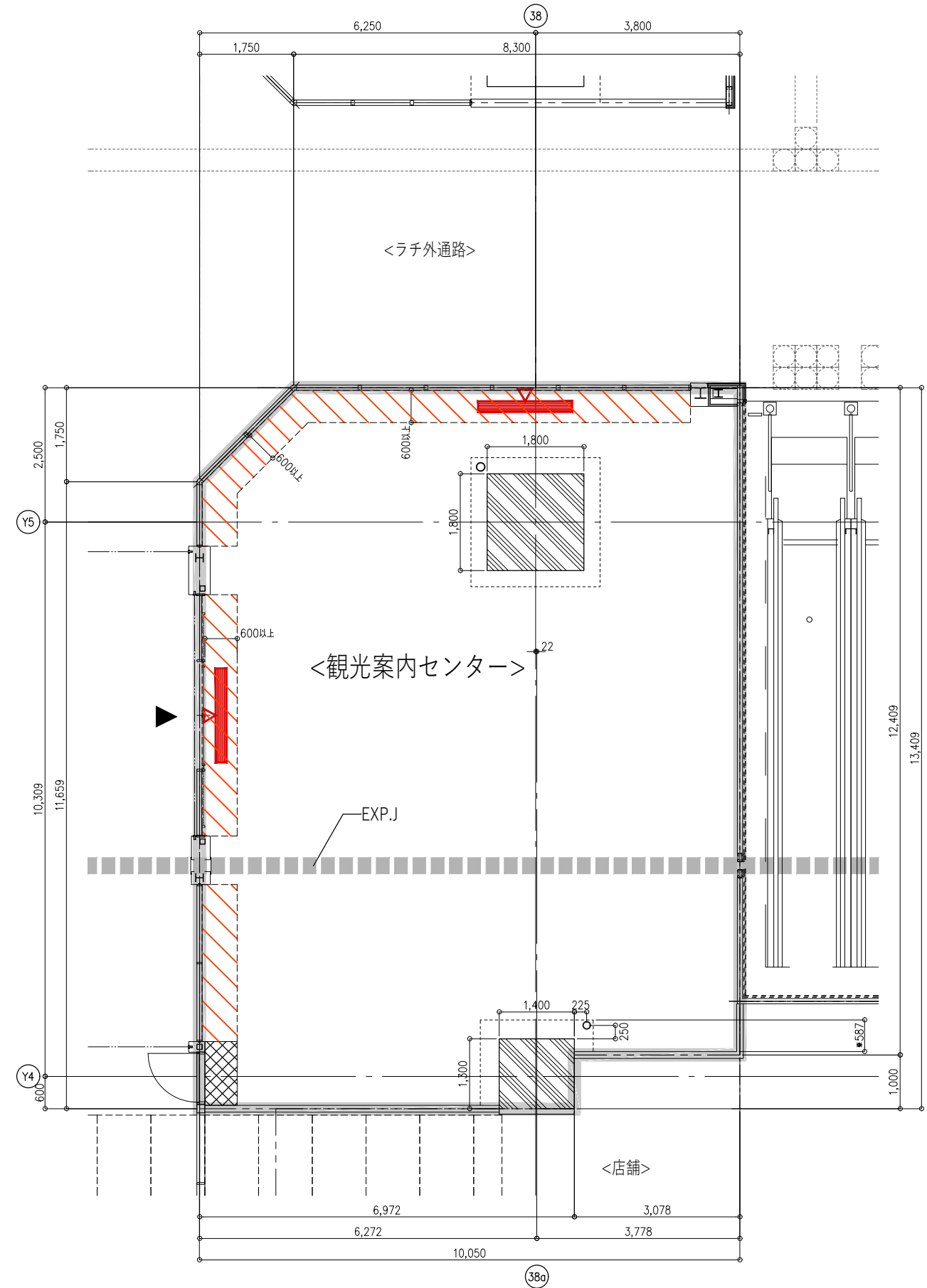
：リースライン内の高架橋躯体柱範囲

2E-31	面積	
	m ²	坪
全体	130.15	
躯体柱	5.06	
全体-躯体柱	125.09	37.91

■デザインルール

項目	記号	内容
サッシュ規制-1		<ul style="list-style-type: none"> ・造作及び什器を設置する場合は、H1350以下とすること。 ・H1350を超えるものに関しては個別協議とする。 ・ガラスのメンテナンスを考慮し、可動式またはメンテナンス可能な仕様とすること。 ・サッシュ及びガラス面に直接施工は不可。
設置物規制		<ul style="list-style-type: none"> ・造作・什器等の設置を禁止する。 (避難、防火区画のシャッター降下範囲)

：店舗サイン（吊りサイン推奨位置）



※ 配管の位置等実測が必要です。また、仕上げラインは想定です。

		工事名称	縮尺	図面番号
			A1:1/50	
		図面名称	A3:1/100	